

広報たしる

No. 320

昭和55年 5月号

田代町総務課編集

1,500部発行



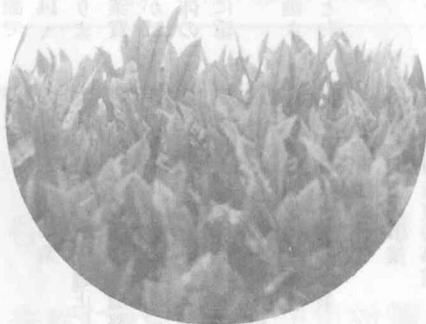
(盤山の田畑一男さんの茶園)

新茶の香り

「田代銘茶」

初夏のおとずれで青葉のさわやかな季節をむかえ、ここ盤山地区をはじめ町内いたるところで新茶の摘みとりが始まりました。

四月の終りの晩霜で、一部被害が見られましたが、順調な生産販売となっており、新芽を摘み取る手さばきにもかるやかさが感じられます。



活力に満ちた緑と心の

一般会計当初予算 12億

本年度の

一般会計性質別歳出の状況

区 分	予 算 額		構 成 比	
	55年度A	54年度B	55年度A'	54年度B'
義務的経費				
人件費	271,868	272,201	22.4	22.2
扶助費	52,915	56,030	4.4	4.6
公債費	112,901	99,577	9.3	8.1
計	437,684	427,808	36.1	34.9
投資的経費				
普通建設事業	500,013	564,805	41.2	46.6
災害復旧費	28,678	3,577	2.4	0.3
計	528,691	568,382	43.6	46.9
その他の経費				
物件費	100,742	107,511	8.3	8.3
維持補修費	15,479	11,000	1.3	0.9
補助費等	123,005	100,624	10.1	8.2
積立金	1,400	1,370	0.1	0.1
投資・出資	360	360		
繰出金	1,000	3,663	0.1	0.3
その他	5,000	5,000	0.4	0.4
計	246,986	229,528	20.3	18.2
合 計	1,213,361	1,225,718	100.0	100.0

◎土木費
表木、山ノ口線改良舗装工事
大原線改良舗装工事
袖山線改良舗装工事
鶴戸野、金山線舗装工事
馬渡橋架設整備事業
花瀬公園整備事業
◎消防費
防火水そう新設工事
◎教育費
中央運動場Aコート本部席新設
大原中屋内運動場整備事業

国民健康保険特別会計
歳入歳出ともに二億三千二百二十五万円で、主なる歳入は保険税の六千四百六十一万七千円、国庫支出金の一億六千二百九十九万、繰越金の三百五十万、全歳出の92.3%を占め、毎年毎年上昇しており、従って保険税もあげざるを得ない状況です。

簡易水道事業特別会計
55年度簡易水道事業特別会計は、一千三百一十一万二千円、当初に比べ三百一十一万二千円の減となっています。
歳入では事業収入の八百八十一万三千円、水道使用料八百七十一万三千円、水道料給水工収入十万円、その他、給水負担金、繰越金等です。

災害はわすれたころに？

もうすぐ梅雨がやってきます。

未然にわが家の防災対策を考えましょう。

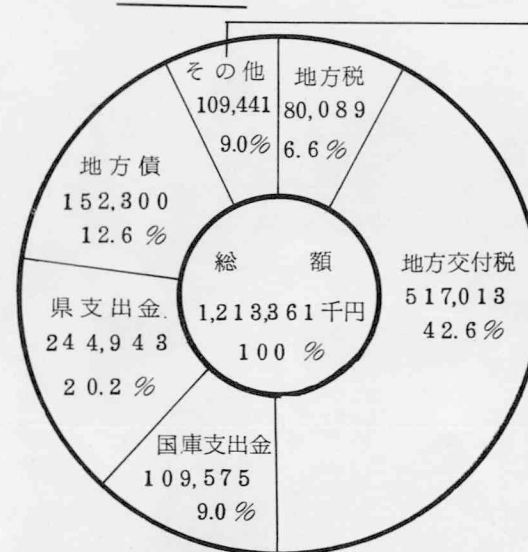
歳出では、総務管理費の四百二十六万（職員一人分の給与費、水道使用料取りまとめ納入謝礼金）、事業管理費が、二百五十三万七千円（各浄配水池の電気料や滅菌用薬代、修繕用材料代等）で、公債費（施設建設時の借入金償還金）二百八十三万八千円、建設改良費（配水池の取付道路の舗装工事）五十六万六千円等です。

豊かな町づくりをめざして

1,336万円

財政状況

歳入



地方譲与税	12,000	1.0%
使用料・手数料	5,707	0.5%
分担金・負担金	19,923	1.6%
寄附金繰入金	2	
財産収入	32,013	2.6%
諸収入	9,796	0.8%
繰越金	30,000	2.5%

昭和五十五年第二回田代町議会定例会は、三月十日から二十八日まで二十日の会期で開かれました。
五十四年度の一般会計補正予算や町長等の給与等に関する条例の一部改正、報酬費用弁償等に関する条例の一部、職員定数条例の一部改正、昭和五十五年の一般、特別会計予算等、二十三議案を可決しました。

一般会計予算

55年度一般会計当初予算総額は、一億一千三百三拾六万一千円で、前年度当初に比べ一千二百三拾五万七千円の減となっています。
これらの内容については、次表のとおりとなっていますが、歳入では地方交付税が全体の42

歳出



・6%を占め、これに国庫支出金、地方債等を加えた約85.4%が国庫に依存している財源で町自体でまかなえる財源は14.6%に過ぎないことがわかります。
歳出においては、農林業費が27.1%を占め、教育費が17%、土木費12.9%で、全体の57%を占め、これらの振興に重点がおかれています。
また、55年度において計画されている主な事業は、次のとおりです。

- ◎交通安全対策費
交通安全施設（ガードレール・カーブミラー）
- ◎農林業費
県単新田地区農道整備事業
県単郷原地区農道整備事業
町単農林道整備事業
農村基盤総合整備事業
山村振興事業
農村振興運動事業
新農業構造改善事業
水田利用再編対策事業
- 公営林整備事業
活動火山周辺地域防災管農対策事業
池野林道開設事業
土地改良維持管理適正化事業
倉谷地区茶園団地農道整備事業
県単瀬戸口地区基幹農道整備事業

昭和55年度新学期スタート

教育だより



入学式後みんなそろって

大原中学校

田代小学校



1年生を迎える会

去る四月七日十時より本校でも新入生二十七名を迎え、入学式が盛会のうちに終わりました。町当局はじめ教育委員会、学校長、生徒会長からの祝辞を頂き、新入生も緊張と喜びのムードの中、先輩四十八名と父母、先生方の暖かい眼差しに見守られながら力強い出発をしました。新入生を代表して山田道代さんは「誓いの言葉」をはきはきと明い声で述べてくれました。次はその一部です。

「……つい先日小学校を卒業したばかりの私たちにとっては心の奥に「中学生になったんだ

「わあー。おじさんみたい。」
「かあちゃんのごっあらい。」
四月十六日、本校では児童会主催の「一年生を迎える会」が開催されました。これはその時のプログラム「六年生におんぶされよう」の中で発した新一年生の驚きと喜びの声です。机合わせの後、六年生におんぶされ、場内を威風堂々(?)と行進する姿はほえましいでした。

各学級では、それぞれ歓迎のことは述べたあと、歌や劇で一年生を楽しませてくれました。また、三年生は手作りのリボンを、六年生は手作りの遊具「かんぱつくり」をプレゼント

という自覚がわいてまいります。入学しました以上は大原中学校の生徒として先生方や先輩の方々のよき指導を受け先輩に負けないようにがんばっていききたいと思ひます。中学校生活は今までと比べて色々な面で程度が高くなり難しくなると思ひますが私たち二十七名は今まで学校生活向上のために色々工夫し心一つにして活動してきました。尊い経験を中学校生活に生かしたいと思ひます。皆さまでどうぞきびしくお導きください。……」

しました。校歌の伴奏はやる気十分の四年生が演奏してくれました。

新学期のあわただしい中、原案作り、討議、会の進行とがんばった役員や上級生にとっても自信と喜びの一日でした。

交通教室

田代小学校



横断歩道の渡り方の練習

我が校にも完全給食 大原中学校

四月八日から始まった給食も初めのとまどいもとれ少しつつ軌道に乗りはじめた。

真新しい帽子にエプロン姿で、きばきと準備する生徒、「今日のおかずは？」と、お盆の上に乗ばれてくるのを楽しみに待つ生徒、「嫌いな人参も、みんなといっしょだとい食べてしまった。」ああ、こんな料理法もあるんだな。どうやって作るのかな。こんど家で作ってみよう。」という声もある。

弁当に比べると、おかずはあ



「生きがい」給食時間

4月25日町教育総会を開催
町内の全先生方が集まり、本年度の目標や努力点を話し合った。

あなたは検診を受けていますか！

『がん』からわが身を守るには

早期発見が大切です

早期発見のきめては、定期検診です。

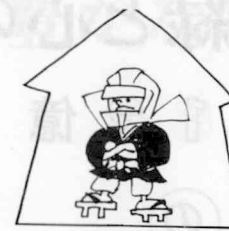
年に一度は、検診を受けましょう

基本台帳人口 55年4月1日現在		前月との 増 減
男	2,199	△ 29
女	2,402	△ 66
計	4,601	△ 95
世帯数	1,470	△ 16



田と子の会話

学校生活や友だちとの間では、人のめんどろみもよく、自分のことは自分でやるが、



内弁慶

自主的な気持ちを持たせよう

内弁慶は、いわゆる泣き虫とか弱虫といわれる子供に多く見られます。

集団生活や友だちとのつきあいには、それなりのルールがあります。自分の主張もするが、

つまり、外での不平不満を家庭に持ち帰って、親や兄弟など身近な人のそばで、自分の主張をガンコなまでに押し通そうとするのです。

内弁慶になる原因はいろいろ

相手の言い分もきき、ときにはがまんもする——といった一定のルールの中で、自分の欲求実現や不満の解消などをうまくコントロールできない子供が、内弁慶になりがちだといわれます。

あるようですが、甘やかされて育った子供に多いといわれます。また、年ごろの子供と遊ぶ機会が少なく、そのために遊び方や集団生活のルールが十分身につけていない子供も、内弁慶になりやすいといわれています。

周囲が子供のいいなりになっていると、いつまでたっても自主的な行動がとれず、ますます外と内とのギャップが大きくなり、ともかぎりません。家庭では、自分のことは自分でする自主的な気持ちを持たせるようにしましょう。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

優勝戦で鹿児島商業高校に惜敗

快拳!! 田代高校軟式野球部

四月八・九の両日

鹿商	0 0 0 ... 0 1 0 0 1 2
田代	0 0 0 ... 0 1 0 0 0 1
回	1 2 3 ... 8 9 10 11 12 計

県高校軟式野球大会
において、今までど
うしても果し得なか
った鹿児島市内の高
校に勝つこと。この
厚い壁を遂に破るこ
とができました。

一回戦は吾平分校
にコールド勝ち。準
決勝では昨年優勝校
の鹿児島実業と対戦

前半リードされながらも田代高は後半同点に追いつき力のあつる鹿夷だけあつて同点に、しかし、十四回表二点をとりその裏、久保投手の好投で相手打線を封じて勝つことができた。

次は優勝戦、相手は強豪の鹿児島商業で、またも延長戦である。



田代高校野球部

両校投手の投げ合いとなりど
うしても点がとれない。遂に9
回表田代高の二番打者市来がセ
ンター前にヒット、三番久保投
手が送りバント成功、一アウト
二塁。そのあと四番強打者舞原
が期待にこたえてセンターオー
バー二塁打して貴重な一点をも
とる。

しかしながら、その裏、伝統と力をもつ鹿商は、あわてずじつくりと久保投手のストライクかボールぎりぎりの球をよく選び無死満塁、次打者を三振に打ちとり一死満塁のところでセントーフライで三塁走者ホームを

突き一点とられ同点、次打者を打ちとり再び延長戦にもつれこむ。延長12回まで1対1の均衡は破れず、両校の投手の好投からしていつ試合が終るのやら予想がつかず遂に日没間近になった。

そのため13回の攻防は両校とも一死二・三塁からはじまる促進ルールが適用された。

13 回表田代側は強打戦法で一ゴロ・セカンドフライで得点なし。その裏鹿商はスクイズを敢行、

打球を舞原一塁手がとつてホーム寸前で鹿商の二塁走者に倒れながら「タッチアウト」と叫びながら左手グラブを高々かかげたがセーフの判定で、この激斗も遂に幕を閉じた。

しかし負けたけれども選手はみんな頑張った。

こまでこれたのも、選手諸君が、部長田原迫、監督竹之内両先生の指導のもとに、小平キヤブテン以下部員のチームワーク。そのチームワークは毎日の苦しい苦しい猛練習から生まれました。「継続は力なり」「一滴でも多くの汗を」

それに学校のグラウンドが狭いため田代町当局のご理解をいただき、中央グラウンドで練習ができたことです。ほんとうに有難うございました。

就任のごあいさつ



教育長 池田 一雄

私、このたび本町の教育委員会にお世話になることになりました。本地区はじめての土地であり、職務上もはじめてで西

も東もわからないところであり
ます。しかし、田代町は
教育の町として県下にその名を
知られたところであります。

実際にまいりまして、下は保育園から上は高齢者学級にいるまでの、各層、各種団体で実に充実した活動や研修がなされていることを見聞いたしました。

田代町子ども会育成連絡協議会総会を開催

四月二十五日、開発センター大集会室において町子連総会が開催され、事業内容、予算、子供会安全会、青少年ふるさと美化活動、親子読書等について真剣に協議されました。

会長に中村義雄氏、副会長に川前卓郎、吉国キミエ両氏が選任され、地域子供会の活動や育成に邁進することになりました。町民の方々の絶大なるご協力をお願いいたします。

これから夏の大会に向けてさらに頑張りたいと思います。



総 会

さすがと感じ入っているところ
でございます。施設にいたしま
してもよく充実され整備されて
います。

このように地に奉職させていたゞくことを深く感謝いたしますと共に、その責任の重大さを痛感いたしております。

皆様方のご指導をいただきながら、この大任を果して参りたいと思しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。